

# 2月のスケジュール

月	火	水	木	金	土	日
1	2 節分	3	4	5	6 small alley fes	7
8 spoken woods project WS	9	10	11	12	13	14
15 0歳児乳児健診	16	17 けやき お別れ観劇会	18 ホナガ ヨウコさん WS	19	20	21
22	23 天皇誕生日	24	25 ※保護者 セッション 乳児	26 音キャッチ ※保護者 セッション 幼児	27	28

※保護者セッション 2/25,26 13:30~14:30に行います。(zoom) 詳しくは後日お知らせ致します。各クラスより1年間の振り返り、及び新年度についてのお知らせを予定しています。



## ポッドキャスト番組「まざるラジオ」スタート

small alley cafeスタッフ小井土さんがパーソナリティをつとめるポッドキャスト番組が始まりました。ポッドキャストは、インターネット上のラジオ。毎回ゲストをお招きして色んなお話をしていきます。番組へのお便りは、small alley cafe Instagramのダイレクトメッセージでお気軽にお送りください。お待ちしております！

## 看護師より

1月7日より緊急非常事態宣言が出されました。現在も増加傾向ではないものの高止まりの状態が続き、いつ誰がかかってもおかしくない状況です。気の抜けない状況に体にも心にも疲れが出てきていませんか？つらい時、心の異変を感じた時は無理して頑張り過ぎずに、小さなことでもいいのでお気軽に園へご相談下さい。

さて、感染症予防として園内では換気をこまめに行っています。5分間の会話で1回の咳と同じぐらいの飛沫が飛ぶとも言われています。お部屋の換気扇を常時稼働し、窓を開けるなどして換気をして空気の入替えをおこなっています。同時に加湿にも気を配っています。低湿度はウィルスの好む環境となりますので、お部屋の加湿器もフル稼働です。皆さんもおうちにこもる日が多くなっていると思いますので、ぜひ換気と加湿に気を配ってみてはいかがでしょうか？

1月の感染症  
嘔吐・下痢：2名  
溶連菌感染症：3名

○0歳児乳児健診 2/15 (月) 9時30分～  
つぼみぐみのみなさんは、当日はなるべくお休みされないようお願いいたします。

February 2021

2021.2.1 発行

# small alley post

## 東香会

保育理念 『いきいき』

合言葉 『すべて子ども中心』

### 基本保育方針

『私たちは、今ここで「こどもたちのたからもの」を大切にします』

『地域で安心して子育てができるように！』

『子どもの成長、発達に寄与する人はすべて保育者』

### 2月の保育主題

『小さなつぼみの微笑む顔』

春に向けた目覚めと発表会の緊張感

## 園長コラム「自分の気持ち」

一瞬の春のような暖かさに惑わされることなく、また寒さが戻ってきましたね。東北の雪がこんもり積もっている写真を見ると、その美しさに羨ましさをも感じます。豪雪地に住む親戚にその話をすると苦労を知らないからだと言われますが。また、冬の露天風呂も格別で私の楽しみでもあります。今行きたいところの一つは山形にある銀山温泉です。その冬景色はなんとも風情があり、温泉に浸かりながら雪を眺めるのを夢んでいます。来年こそは…と願うばかりです。

さて、この寒い中、先日はたくさんの保護者の方に街歩きに参加していただき嬉しく思っています。Tくんが当日、「行きたくない」と主張しました。3階の窓の淵に丸まり、行かないことを身体で表現します。そばでお父さんが見守る中、周りの大人の顔をちらちら見ながら「行かない」と何度も保育者に伝えます。私もそのやりとりに参加し、お父さんには“他の子どもたちと街歩きに参加する”か、“街歩きの日程を変更するか”、という提案をしました。わざわざお時間を調整しておいでくださっているのです、この2つの提案が心苦しくもありましたが、その時のTくんの様子を見る限り、この日に行くのは難しいと判断させていただきました。お父さんとも相談の上、別日に変更となり、お父さんは保育室から去っていきます。その様子を見て、丸くなった身体をもぞもぞ動かすTくんです。そばに寄ると行かなかったことを責められると思ったようで、その場から走っていなくなりました。「Tくん、今日は行きたくなかったんだ。でもなんで？」と聞くと「寒いから」と答えます。「じゃあ次はあったかい上着持ってきた方がいいかね」とさらに聞くと「違う！！いや！」と返します。“行かない理由は寒さではないな”と思い、街歩き自体をしたくないのか聞きました。それには「わからない！！！」と強めのトーンで言葉が出ました。

子どもたちが自分の気持ちを伝えるときに「わからない」と表現することがありますが、私たち大人はそれに対してすぐに答えを出そうとしてしまいます。しかしきっと本当に心の中は揺れていて、自分の気持ちがわからないのだと思います。今回このTくんの「わからない！！」という言葉に意思を感じ、この思いを大切にしたいと思いました。そしてその場から一度離れることにして、その日の午後Tくんにもう一度気持ちを聞きにいきました。「街歩きどうする？」と聞くと「明日いく！」と明るい声で返事が返ってきました。「あ、でも明日はお父さん仕事で、来週になったよ」と声をかけると「あ、そうなんだ！わかったー」とやりとりが終わりました。

この日のTくんの思いを快く受け入れ、別日に変更していただいたお父さん、ありがとうございます。この時間があったことで、Tくんは自分の心の奥の気持ちと向き合って、納得して答えを出せたのだと思います。後々、他の職員にも話を聞くと、どうやらその日、お友達の誕生日のためにプレゼントを作って渡したかったから行かない選択をしたことがわかりました。大好きなお父さんがいる特別な日で、本当は一緒に行きたいけれど、自分の気持ちに素直にいたい—そんな思いが伝わってきました。自分の思いがうまく言葉にできず、もどかしい気持ちになったとき、その場の状況に応じて言葉かけをしていきたいですね。全てを受け入れられないこともあります、子どもも大人も自分と向き合う時間を大切にしていきたいです。

渋谷東しぜんの国こども園 園長  
名古屋 彩佳

## 保育エピソード 「笑顔ができたね」

先日から折り紙でバッジ作りをしていたAさん。今日は2人の友達と一緒に作っていた。3人で話しながら作っていき、出来上がると箱に入れていく。そんな楽しげな様子を見て他の子もやってきた。3人はバッジ屋さんになり、集まってきたお客さんに箱に入れていたバッジを配っていた。しばらく配ったあと、箱の中のバッジが残り2つになったのを見たAさんは、箱を覗き込みながら嬉しそうに笑う。その2つのバッジが、箱の底でまるで顔に見えるように並んで置いてあったので「私たちのバッジで笑顔ができたね！」とAさんは他の2人にも話しかけていた。Aさんの「笑顔ができたね」という言葉がすごく素敵で印象的だった。バッジをお客さんに配っていく時に、もらった子たちが笑顔になる様子を見て嬉しかったのかもしれない。自分が考えて作ったものだからこそ尚更ではないかと思う。相手が笑ってくれると自分も嬉しくなることは、大人も子どももきっと同じだろう。これからも子どもたちが笑顔になる瞬間や、そこから感じた想いを大切にしていきたい。

### 今月のsmall alley play ground ピックアップスポット

#### 魚竹

〒150-0011 東京都渋谷区東2-24-6

しぜんの国からほど近いところにある和食屋さんをご紹介します。魚屋さんとしてスタートし創業80年を超える活魚料理のお店、魚竹です。私のオススメはランチ。お昼時はいつも混んでいますが、並ぶ価値があります。お刺身・焼き魚・煮魚どれも丁寧に作られていて、おなかもいっぱいになり、とてもリーズナブルだと思います。海鮮丼はお刺身別盛りにもできるので、是非試してみてください。店内はお座敷とテーブル席、カウンターがあります。予約制ですが個室もあるので、小さいお子さんと一緒に気兼ねなくお食事できると思います。私のイチオシはカウンター席。切る、焼く、盛り付けるという板前さんの美しい仕事を間近で見ることができます。テイクアウトもできるので、おうちで食べたいなと思う時にもおすすめできます。

